

広島県尾道市三軒屋町方言の 比喩語について

灰谷 謙二

はじめに

1. 調査対象地：広島県の東部、福山市と三原市の間に位置し、面積110.67km²、人口約10万2000人。市の大部分が急峻な山で、海に面した南部が帯状の市街地を形成し、平坦地は少ない。造船関係、海産物関係の食品製造業。市街地周辺の農村地帯ではキャベツ、ワケギ、ブドウの近郊農業。漁業は養殖に力をいれる。JR山陽本線が海岸線に沿って東西に走り、尾道港に面して尾道駅がある。水中翼船、高速艇、フェリーボートで今治市へ連絡。国道2号線が横断。尾道市を起点に国道184号線が甲山町、三次市を經由し、山陰の松江市に通ずる。
2. 調査年月日：1992年12月24日
3. 話者：妹尾英子（大正14年生まれ 67歳 女性 外住歴なし）
4. 調査者・調査場所：灰谷 謙二（昭和41年生まれ 26歳） 話者宅の居間
5. 調査方法・調査時の様子：調査票に基づく質問法。質問の順序は、性向語彙の項目から始め、後半絵カードの項目へ移った。こちらが提示したものをそのままこたえたものには、（提：）と示した。

I 《自然現象》

- 1 日照り雨 キツネノヨメイリ（狐の嫁入り）
日照り雨〈名〉中・老年層 稀 古
- 2 入道雲 ニュードーグモ（提：入道雲）〈名〉
- 3 旋風 知らない
- 4 霜柱 シモバシラガ タツ（提：霜柱が立つ）〈動〉
- 5 つらら ツララ（つらら）〈名〉
- 6 北斗七星 ホク下ヒチセー（北斗七星）〈名〉
- 7 昴 知らない
- 8 流れ星 ナガレボシ（流れ星）〈名〉

II 《動物》

- 9 かわはぎ クロハゲ・クロハギ・（黒はげ）
〈名〉カワハギ（提：かわはぎ 聞く）
- 10 ひらめ ヒラメ（ひらめ）〈名〉

- 11 ひきがえる アマガエル(雨蛙)・ヒキガエル(ひき蛙)〈名〉
- 12 青大将 ヘビ(蛇)〈名〉
- 13 とかげ トカゲ(とかげ)〈名〉
- 14 かまきり ママキリ(蠨螂)〈名〉
- 15 みずうまし ミズスマシ(提:ミズスマシ 聞いたが見たことがない)〈名〉
- 16 きつつき キツツキ(提:啄木鳥 名前は聞いたことがある)〈名〉
- 17 せきれい セキレイ(提:せきれい そういう鳥はいるがわからない)〈名〉
- 18 ふくろう フクロウ(ふくろう)〈名〉

III 《植物》

- 19 馬鈴薯 ジャガイモ(じゃがいも)〈名〉
- 20 どうもろこし 下モロコシ(どうもろこし)〈名〉
- 21 いんげん豆 マメ(豆)〈名〉・インゲンマメ(提:いんげん豆 聞いたことはある)〈名〉
- 22 そら豆 オタフクマメ(お多福豆)
空豆〈名〉中・老年層 多 中 お多福の顔にたとえたもの
cf:アジエマメ(畦豆)えんどう豆〈名〉
- 23 木くらげ キクラゲ(提:木くらげ)〈名〉
- 24 げんのしょうこ ショウジョコ(提:験の証拠)〈名〉
- 25 どくだみ ドクダミソウ(提:どくだみ草)〈名〉
- 26 いたどり タジツボ(たじっぼ)
いたどり〈名〉中・老年層
- 27 からすうり 知らない
参考:ハヤ下ウリ(はやと瓜)「はやと」の由来、共通語形については不明。
○カタチガチ下 デコボコシドルケド子。キューリノ ヨーニ シテ 夕ベテモ
オイジョーユーテジャケド 茶一。チンカ ジート コーナ トコ ホットツタラ ヌガ
デテ クルケ ウエタラ ナンボデモ デキルンジャソーナ。形が少しでこぼこしてい
るけどね。胡瓜のようにして食べてもおいしいと言うのだけどね。なんか、じっと、
こんなところへほっておいたら芽が出てくるから植えたらいくらでもできるのだそ
うだ。
- 28 すみれ スミレ(堇)〈名〉
- 29 春蘭 知らない
- 30 母子草 知らない
- 31 ねむの木 知らない

IV 《性向》

32 熱しやすく冷めやすい人 アキヤスイヒト (飽きやすい人) (名)

33 あわてん坊 オッチョコチヨイ (おっちょこちよい) (名)

34 動作の鈍い人 ノロイ (鈍い) (形容詞) ○ノロイ ㊦。

35 嘘つき

・オアサナ コトー ユー (大げさなことを言う) (動)

・ウツツキ (嘘つき) ・ウソイー (嘘いい) ・ホラフキ (法螺吹き)

嘘つき (名)

・オアブロシキ (大風呂敷)

誇大家 (名) 中・老年層 中

○チーサイ コトー オーキニ ユーヨーナ。ソフ シチョーサンガ オアブロシキ オアブロシキユーテ ユーメーナカッタ。小さいことを大きく言うような。その市長さんが大風呂敷、大風呂敷といって有名だった。

オアブロシキ ヒロダル (大風呂敷を広げる) 小さいことを大きく言う (動) ○マー マタ オアブロシキ ヒロダテ アーナ コト ヨール ㊦。まあ、また大風呂敷を広げてあんなことを言っているよ。

36 ほらふき オアダサ (大げさ) (名)

37 おしゃべり ホーソーキョク (放送局)

おしゃべりの好きな人 (名) 中年層 新 中 おしゃべりが好きでいろんな所に話しを広めることを放送局にたとえたもの ○ジャベッテバツカリ。ヨー オジャベリスルユー コ下 ヨネー。アフ ヒトワ ホーソーキョクジャケー チーユーテカラ ヨー ユーデン ヒトガ オッチャツタケー ㊦。しゃべってばかり。よくおしゃべりするということよね。「あの人は放送局だからね。」といってよく言う人がいたからね。

38 冗談言い 特に無し

39 口先だけの人 (ハラニモ ナイ コトー ユー 提: 腹にもないことを言う) (動)

○ハラニモ チイノニ フー。クチサキダケデ ユー ヒ下ガ オル ワーネー。ハラニモ ニャー コト イヨーテジャー。腹にも無いのにな。口先だけで言う人がいるわよね。腹にもないことを言ってるぞ。

40 とんちんかんなことを言う人

・トフチンカンナ コトー ユー (提: とんちんかんなことを言う) (動)

・ツヅツマガ アワン (提: 辻褄が合わない) (動)

41 のらりくらし煮えきらない人 ニエキラン (提: 煮えきらない) (形)

○ナカチカ ユワンゲー ヨネー。なかなか言わないからよね。

42 怒りっぽい人 カンジャクモチ (提: かんしゃく持ち) (名)

○アブ ヒトワ カンジャクモチジャ チー。

43 気むらな人

・オチツキガ ナイ (提: 落ちつきが無い) (形)

・イラ (提: いら) ・イラサン (いらさん) 落ちつきの無い人 (名) ○アブ ヒトワ
イラサンジャ チーユーノモ ユー コ下ワ アル チー。

・キバシガイ (気ばしかい) 気ぜわしい。気が急いで先さきしないと気がすまない
(形) ○キガ ハシットルユーンカ ドーカ。気が走っているというのかどうか。

44 泣き虫 ナギヤマン (泣きやまない) (動)

45 おてんば娘

・オトコマサリ (男勝り) おてんば娘 (名) 中・老年層 古

・ハチマン (八幡) おてんば娘 (名) 古老 使っていた友達もいた 稀 古 中

46 腕白坊主 腕ンボ (頑固の頑に坊主の坊と書くのだろうかとの説明)

腕白坊主 (名) 中・老年層稀 古 中 ○腕ンボジャ チー。がんばだなあ。

47 出しゃばり デシャバリ (提: でしゃばり) (名)

48 どこへでも顔を出す人 デシャバリ (でしゃばり) (名)

49 家にこもって外出しない人 ウチラスベ (家くすべ)

家に籠もっている人 (特に男性) (名) 中・老年層 中 煤埃のように家の中をく
すぶらせる人の意。○イエノ ナカオ クスボラスユナ イミジャ 不。オトコノ ヒ
トデモ ネ ソトジャー モー モアスゴ ヒトガ エーノニ 不。イエノ ナカジャッ
トラ モー オクサン オコリマースヨーナ ヒ下ー ウチラスベユーン ヨ。ヨ。ア
タリチラカスン ヨ不。イエノ ナカニ シット オッテ フ。ソトエ デタガラン
ヒ下ワ フ。家の中をくすぶらせるというような意味だね。男の人でもね。外では
もう、ものすごく人がいいのにな家の中だったらもう奥さんを怒りまわすような人
をうちくすべというのよ。よく。あたりちらかすのよね。中にじっといてね、外へ
出たがらない人はね。

50 小心者 ショー下ギモ (小人肝)

小心者 (名) ○ショー下ギモユテ ユー。キノ チサイ ヒトワ フー。チーサイ キ
モト 万クンジャロ。小人肝という言う。気の小さい人はね。小さい肝と書くの
だろ。

51 内弁慶

・(ウチクスベか?) ○(ウチクスベは) イエノ チカノ モノー ミンチ アタリチ
ラカシテ 下ーユーンネー。インキチ ヒ下 ヨ不。

・ウチベンケー (提: 内弁慶 言うことはある) (名)

52 人づきあいをしない人、社交性のない人 ヒトズキアイガ ワルイ ヒト (提: 人づ
きあいが悪い人) (名)

- 53 妻に対して頭の上がらない男 シリノ シタ ヒカレトル尻の下に敷かれている〈動〉
- 54 けち
 ・テチナ ヒト (けちな人) 〈名〉
 ・三ギリ (握り) けち 〈名〉 中・老年層 古 中 握って放さないの意味でけちな人のこと
- 55 欲張り ヨヲバリナ ヒト (欲張りな人) 〈名〉

V 《食生活》

56 大食漢

・オーモノグイ (大物喰い) たくさん喰う人 〈名〉

・バカノオーグイ (提: 馬鹿の大喰い) 〈名〉

57 ぼたもち アンゴモチ (餡餅) 〈名〉

58 砂糖味が薄い

サトーヤノ カトー ハシッテ 下ータ (砂糖屋の玄関先を走って通った)

甘味が足りないこと〈慣用文〉老年層 古 中 ○サトーヤノ カトー ハシッテ 下ータン カチヨーナ コトー。サトー アマミガ タラソユー コトー。「砂糖屋の玄関先を走って通ったのかな。」と言うようなことを(言っていた)。砂糖の甘味が足りないと言うことを。

59 塩味が薄い アジガ ウスイ (味が薄い) 〈形〉

60 大酒飲み サケノミ (酒のみ) オーザケノミ (大酒のみ) 〈名〉

61 酒に酔ってくだをまく ヲダー マク ヒ下 (提: くだを巻く人) 〈名〉

62 酒に酔って顔が赤くなる。そのさま 特に無し

VI 《動作・様態》

63 恥ずかしくて顔が赤くなる。そのさま

参考: タコチャン (蛸ちゃん 個人的なあだな)

アダナデ ワタシガ ヨー ガクセージダイニ バート アユー チルケ タコチャンユー アダナ ツイトッテ ネー。あだ名で私がよく学生時代にばあっと赤くなるから タコチャンというあだ名がついていてね。

64 どしゃ降りの雨 ドシヤブリ (どしゃ降り) 〈名〉

65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる。そのさま ビシヤヌレ (びしょ濡れ) 〈名〉

66 服装がだらしないさま ダラシチイ (だらしない) 〈形〉

67 髭がのび放題なさま

・ダラシチイ (だらしない) 〈形〉

・オーチャクナ (横着だ) 〈形動〉

- 68 厚化粧をしている人 カペー ヌットッテンヨーナ (壁を塗っているようだ)
厚化粧をしている〈慣用句〉中・老年層 中 化粧の厚い様を「壁土を塗る」と誇張した表現。
- 69 背丈の高い人
モガ タカイ (背が高い) 〈形〉
- 70 出びたい デブサン (でぶさん) 〈名〉
○デトル ヒトー ノー。おでこの出ている人をね。
- 71 汗がひたいから流れ落ちる タキノ ヨーニ ナガレル。(捉: 滝のように流れる)
- 72 目を丸くする ビツリシタ (びっくりした) 〈動〉
- 73 口をとがらす ハブテル・ハブテトル (はぶてる・はぶてている) 〈動〉腹をたてたりすねたりしてふくれる
参考: オニオーサン (お仁王様)
怒った顔〈名〉中・老年層 中 怒った顔を仁王の顔にたとえる言いかた。○オニオーサン ミタイナ カオジャ。オソロジー カオー シトルユー イミノ コトジャ ネ。キニ イラン コトガ ユーテ ソーナ カオー シテモ オニオーサン ミタイナ カオシトル チトワ ユー ヨ。ソリヤ。オヨットル トキト オンチジヨーナ イミニ ツカウター ネー。お仁王様みたいな顔だ。恐ろしい顔をしていると言う意味のことだね。気に入らないことをいって、そんな顔をして「お仁王さんみたいな顔をしているな。」とはいうよ。そりゃ。怒っているときと同じような意味に使うからね。
- 74 焦げ臭いにおい コダクザイ (焦げ臭い) 〈形〉
- 75 遠廻り(を)する トマーリ (遠廻り) 〈名〉
- 76 末っ子 オトンボ (乙んぼ)
末っ子〈名〉中・老年層 少 古 中
- 77 一生懸命頑張る ガンバル (頑張る) 〈動〉

まとめ

動植物関係のものには比喩語が得られにくい。市街地であったことが影響したか。周辺農村部との比較も必要であった。今回の調査の範囲で比喩語として取り立てられるものは、オタフクマメ(空豆)、ホーソーキョク(おしゃべり)、ウチクスベ(家に籠もって外出しない人)、サトーヤノカドーハシッテトータ(砂糖味が薄い)、カペーヌットッテンヨーナ(厚化粧)、オニオーサン(怒った顔)であろう。オープロシキ(嘘つき・誇大家)は発想は一般的だが、有名な個人にあてられ、尾道市では、一時流行したようである。オープロシキと言えば、市長の話しが出る。その用法には地域性が認められるとってよいか。

(はいたにけんじ 広島大学大学院)